

## 1-1 日本の将来推計人口(平成14年1月推計)について

### 1. 将来人口推計

- 国立社会保障・人口問題研究所においては、直近の国勢調査人口を基準として、5年ごとに我が国の将来人口推計を行っている。
- 今回、平成12年国勢調査人口に基づき、2050年までの新しい人口推計(前回推計は、平成9年1月)を行ったもの。

### 2. 今回の推計結果の特徴

#### (1) 少子化が一層進展する。(合計特殊出生率の低下)

	今回中位推計 (2050年)	現在の状況 (2000年)	(参考) 前回中位推計 (2050年)
合計特殊出生率	1.39	1.36	1.61
平均初婚年齢(女性)	27.8歳	24.4歳	27.4歳
夫婦の完結出生児数	1.72人	2.14人	1.96人
生涯未婚率(女性)	16.8%	4.9%	13.8%
出生児数	67万人	120万人	81万人

※ 合計特殊出生率:一人の女性が一生(15~49歳)の間に生む子供の数

※ 夫婦の完結出生児数:結婚した夫婦が生涯に生む子供数

※ 平均初婚年齢、夫婦の完結出生児数、生涯未婚率については、「今回中位推計」は1985年生まれ、「現在の状況」は1950年生まれ(ただし、夫婦完結出生児数のみ1948~52年生まれ)、「前回中位推計」については、1980年生まれの者の数値である。

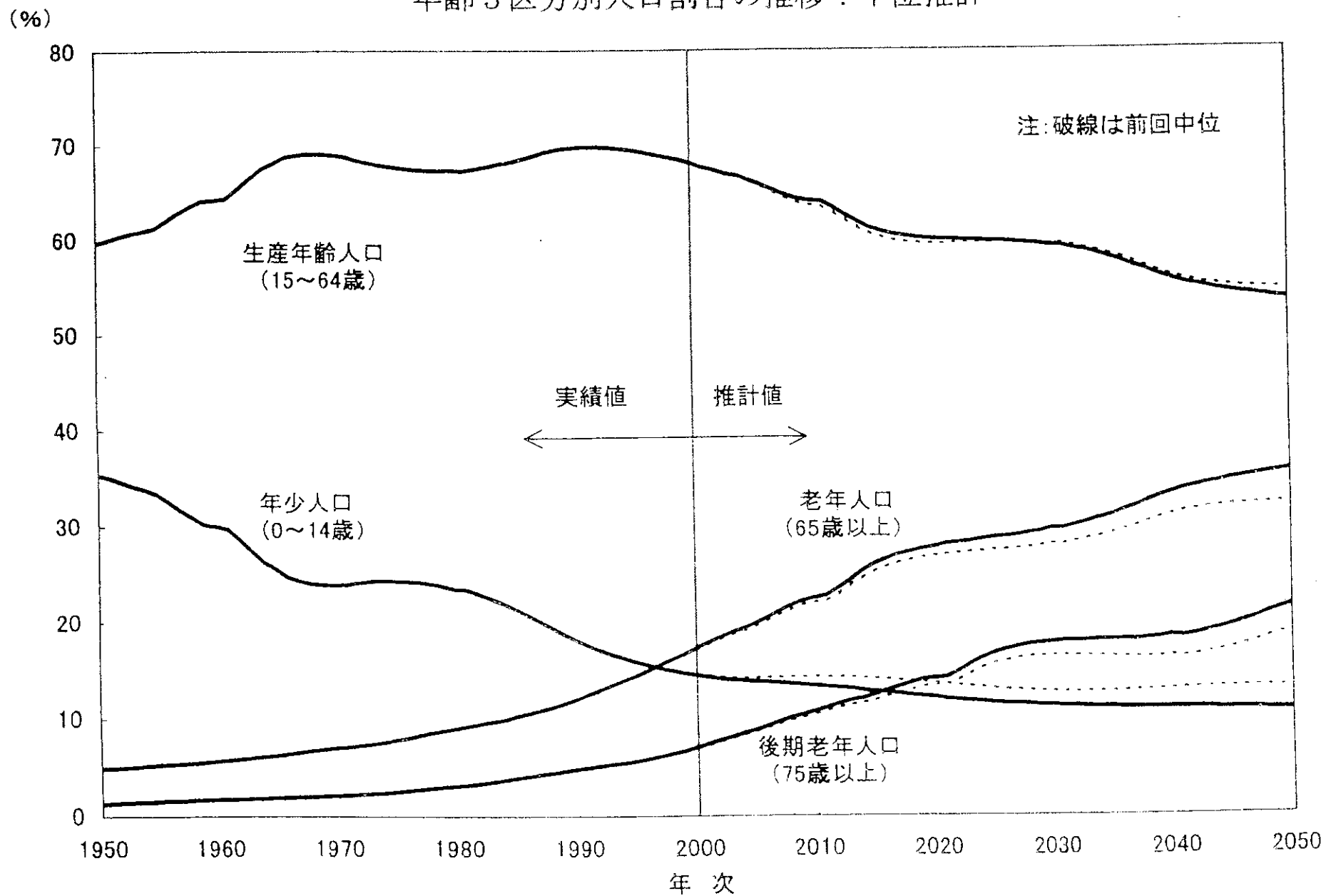
(2) 高齢化が一層進展する。(平均寿命の伸長)

	今回中位推計 (2050年)	現在の状況 (2000年)	(参考) 前回中位推計 (2050年)
65歳以上人口割合	35.7%	17.4%	32.3%
平均寿命(男)	80.95年	77.64年	79.43年
(女)	89.22年	84.62年	86.47年

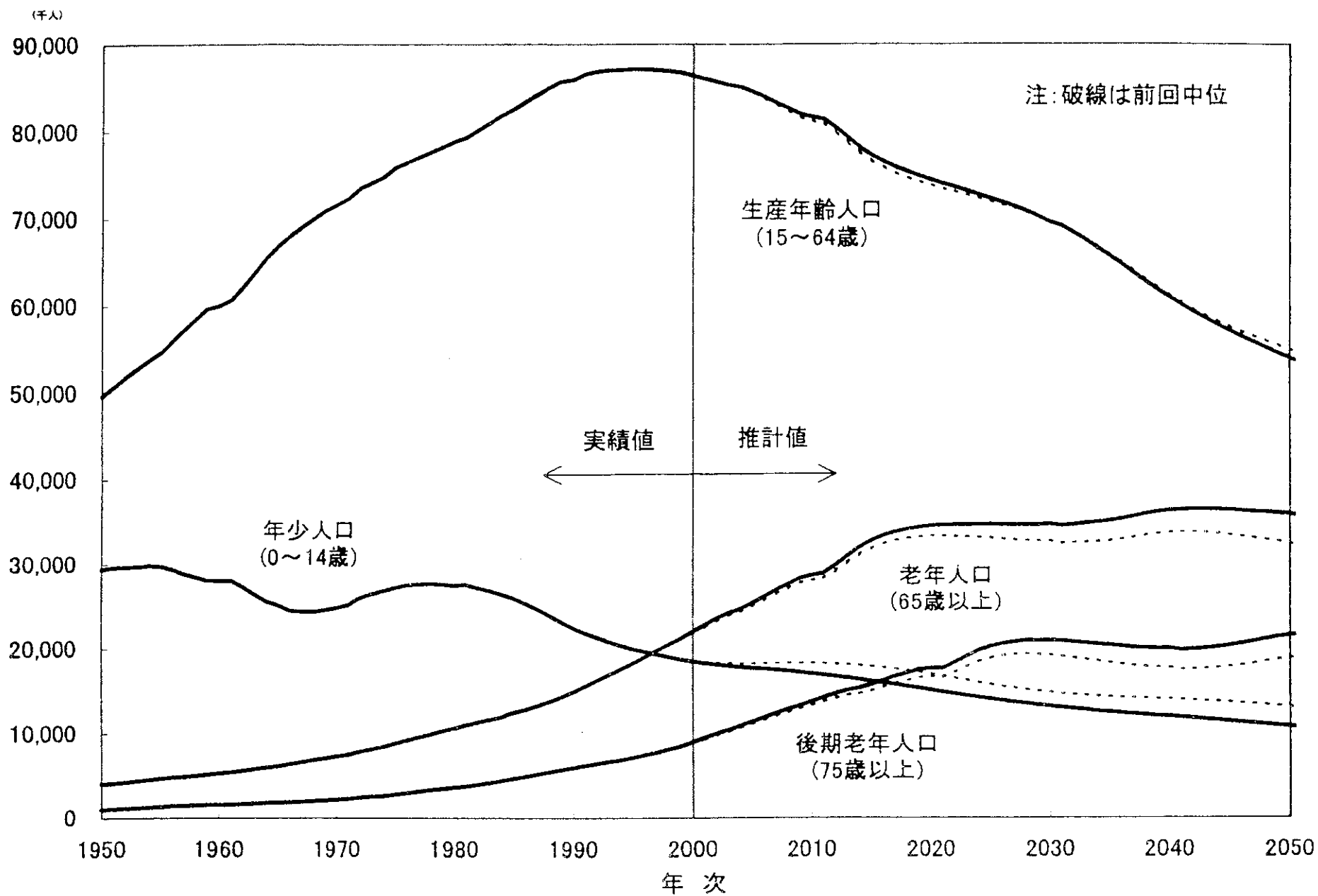
(3) 総人口のピークは2006年の12,774万人(前回推計では2007年の12,778万人)

	今回中位推計	(参考) 前回中位推計
2000年	12,693万人	12,689万人
ピーク	12,774万人 <2006年>	12,778万人
2050年	10,059万人	10,050万人

# 年齢3区分別人口割合の推移：中位推計



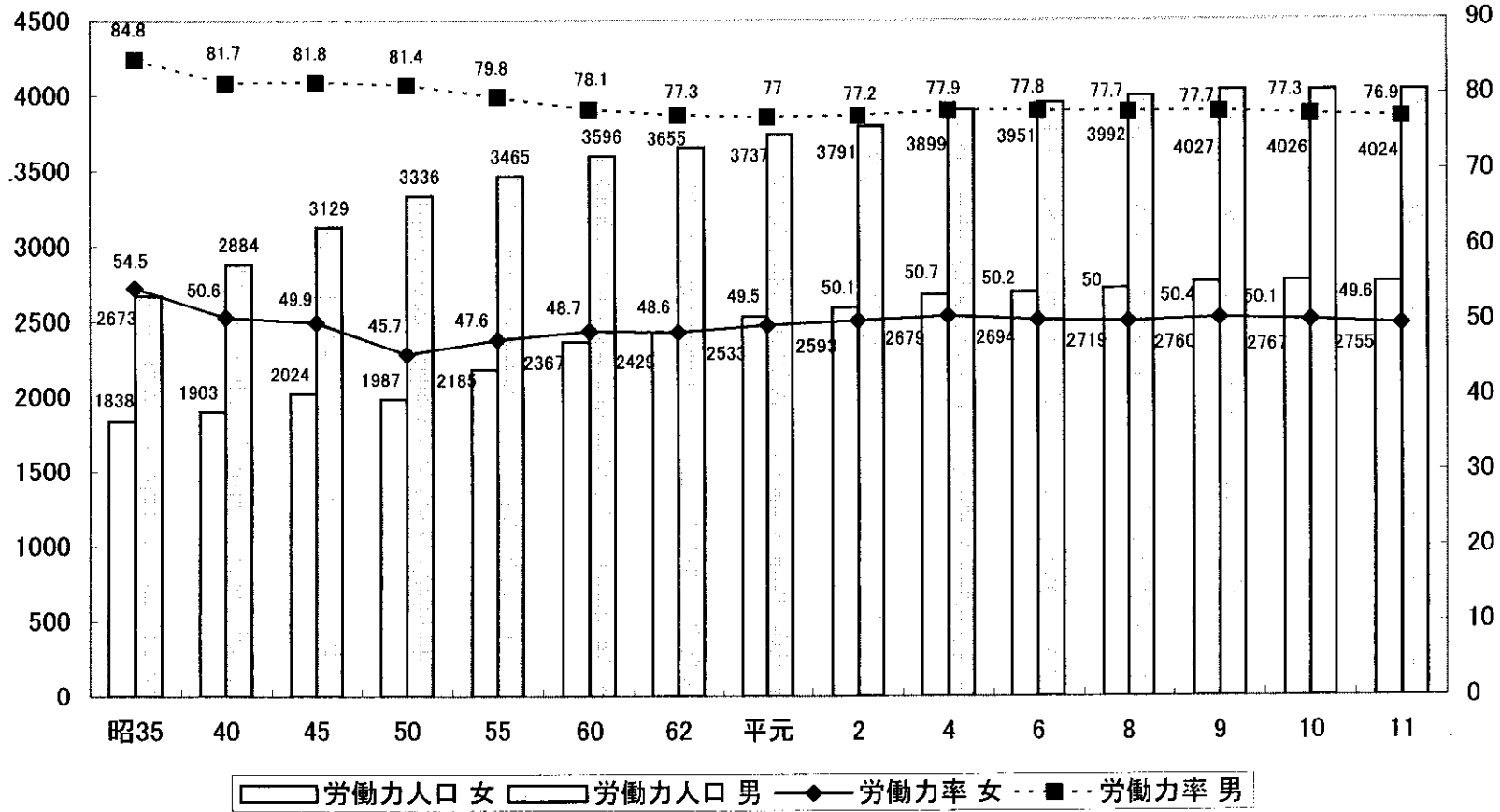
# 年齢3区分別人口の推移：中位推計



# 1-2 労働力人口及び労働力率

労働力人口(万人)

労働力率%



資料出所: 総務庁統計局「労働力調査」

## 1-3 労働力人口の見通しについて

〔雇用対策基本計画(抄)(平成11年8月閣議決定)〕

### II 雇用の動向と問題点

#### 2 今後の雇用動向と問題点

##### (1) 今後の労働力供給と就業構造等の見通し

(労働力人口の見通し)

労働力人口は、1998年の6,793万人から2005年までに約60万人増加し、その後2010年までに約120万人減少するものと見込まれる。また、増減の推移をみると、1990年から1998年まで年率0.8%の増加であったのに対し、1998年から2005年までは年率約0.1%と伸びが鈍化し、その後2010年まで年率約0.4%の減少となる。

若年層(15～29歳)の労働力人口は、今後若年人口が減少するため、1998年の1,631万人から2010年までに約400万人の大幅な減少が見込まれる。

これに対して高年齢層(55歳以上)の労働力人口は、1998年の1,570万人から2010年までに約380万人程度の大幅な増加が見込まれる。これらの結果、高年齢層の労働力人口が全体に占める割合は、1998年の23.1%から2010年には約29%へと高まり、労働力の高齢化が一層進展することとなる。

女性については、ほとんどの年齢階級で労働力率が上昇し、いわゆるM字カーブの凹が小さくなることにより、女性の労働市場への参入が引き続くものと見込まれる。

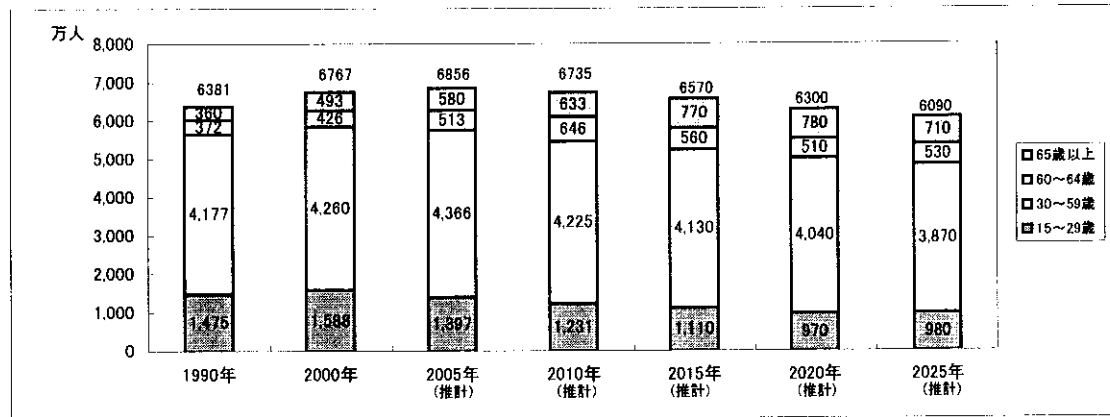
(注)本推計は、前回の人口推計(平成9年1月)をベースとしたものである。

## 労働力人口の見通し

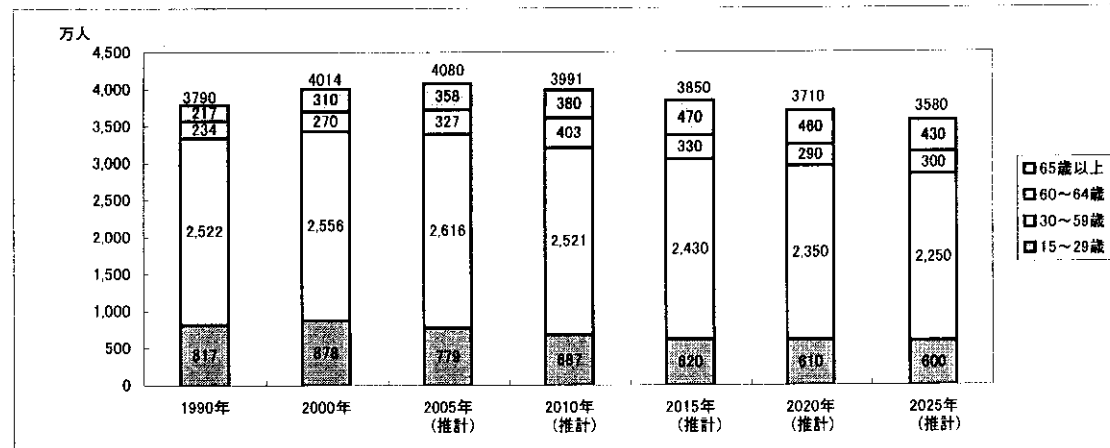
・労働力人口は2005年をピークに減少に転じ、2010年には労働力人口の約5人に1人が60歳以上の高齢者となる見込みである。

(注)本推計は、前回の人口推計(平成9年1月)をベースとしたものである。

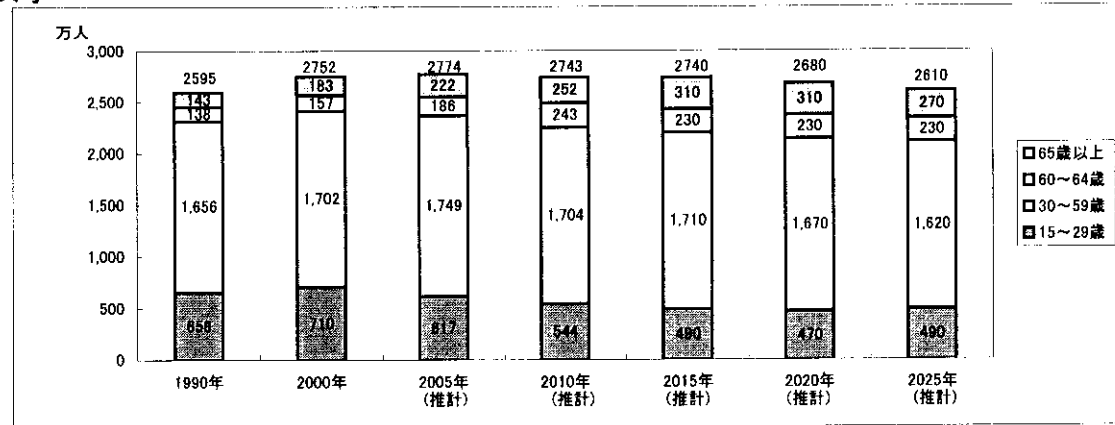
### ○合計



### ○男子



○女子



(資料出所) 1990年、2000年は総務庁「労働力調査」

2005年、2010年は雇用政策研究会推計(平成11年5月)

2015年以降は、労働省職業安定局推計(平成10年10月)

(注) 推計値については、概数で表示しているため、各年齢区分の合計と必ずしも一致しない。